

令和6年度事業報告

◎会員の状況

令和6年4月1日現在	275名
令和6年度 入会者数	3名
令和6年度 退会者数	17名
令和7年3月31日現在	261名

1 医療保険制度の円滑な運営に関する事業

(1) 医療費支給申請書の審査に協力し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

新潟県柔道整復師会審査委員会、協会けんぽ新潟支部柔道整復療養費審査委員会施
術者審査委員、新潟県国民健康保険柔道整復師施術療養費審査会審査員及び新潟労働
局柔道整復師施術費用審査委員として審査業務に協力した。

(2) 保険取扱研修会を開催し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

会員柔道整復師の知識の向上と療養費の適正な請求を行うための保険取扱研修会
を開催した。

① 日 時：9月15日（日）午後1時から午後4時

会 場：新潟市万代市民会館 6階多目的ホール

参加者：144名

講師・内容：

○関東信越厚生局新潟事務所 指導課長 野本一浩氏

演題「柔道整復師の施術に関する制度について」

○全国健康保険協会新潟支部 業務グループ長補佐 本間 恵氏

演題「療養費申請と協会けんぽの取り組みについて」

○新潟県国民健康保険団体連合会 審査業務二課 課長補佐 菅野恵美子氏

第二係長 金子邦彦氏

演題「療養費請求における新潟県国民健康保険団体連合会の状況と注意点
について」

○新潟県柔道整復師会 市川寿秀 保険部長

演題「令和6年度料金改定の概要と保険取扱の注意点について」

② 各ブロック保険研修会

・上越ブロック

春季：4月13日（土） 参加者：会員43名

市川保険部長より「オンライン資格確認および保険取扱等」について
説明を受けた。

年末：12月7日（土） 参加者：会員41名

金子会長より「柔道整復師業界の動向について」・市川保険部長より

「保険取扱等について」説明を受けた。

・中越ブロック

12月7日（土） 参加者：会員28名

丸山副会長より「柔道整復師の業界動向について」・森腰 淳行政書士より「交通事故の自賠責保険施術について」説明を受けた。

・下越ブロック

12月14日（土） 参加者：会員31名

丸山副会長より「柔道整復師の業界動向について」・森腰 淳行政書士より「交通事故の自賠責保険施術について」説明を受けた。

(3) 新入会員を対象として講習会を開催し、柔道整復師の保険取扱業務指導を行う。

○講習会を8回開催し、全新入会員が受講した。

(4) オンライン資格確認の説明会を行った。

令和6年4月からオンライン資格確認の運用が開始され、令和6年12月2日の受領委任払いを行う施術所におけるオンライン資格確認システム導入の義務化に備えて、未導入の会員に対して、6月9日（日）に説明会を開催した。

2 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復術の医学的研究に関する事業

(1) 学術研修会を開催する。

○4月13日（土） 上越ブロック春季学術研修会 参加者：会員43名

講師 独立行政法人 労働者健康安全機構

新潟労災病院 院長代理 整形外科部長 傳田博司 先生

演題 「骨粗鬆症の病態と治療」

○12月7日（土） 上越ブロック年末学術研修会 参加者：会員41名

講師 上越薬剤師会 理事 吉村敏樹 先生

演題 「転倒・骨折とくすり」～柔道整復師が知っておきたいリスクと対策～

○12月7日（土） 中越ブロック年末学術研修会 参加者：会員28名

講師 医療法人 晴生会 介護老人保健施設「葵の園・長岡」 施設長・医学博士

中越ブロック学術顧問 立川厚太郎 先生

演題 「腱鞘炎およびバネ指の保存療法の注意点と手術適用について」

○12月14日（土） 下越ブロック年末学術研修会 参加者：会員31名

講師 新潟県臨床整形外科医会 会長 木島整形外科 院長 木島秀人 先生

演題 「整形外科臨床の経験から：一般的な整形外科疾患を中心に」

○会員学術発表

2月23日（日）新潟東映ホテルにて開催され、67名の参加があった。

・講演会 講師：公益社団法人 新潟県柔道整復師会 小林英樹 学術部長

演題：「運動器超音波解剖 下肢編」

・会員論文発表：關 満彦 会員

演題：「整骨院における拡散型（ラジアル）体外衝撃波R－SWの有効性」
～疲労性骨折へのアプローチ4例の治療成績～

なお、關 満彦会員を、令和7年6月に福井県で開催される北信越学術大会の新潟県代表（会員論文発表）とすることとした。

(2) 日整学術・生涯学習講習会に協力する。

11月16日（土）日整会館で開催され、金子会長及び丸山副会長、市川副会長が出席した。

(3) (公社)日本柔道整復師会北信越学術大会長野大会に参加する。

(公社)日本柔道整復師会第44回北信越学術大会長野大会が、6月15日（土）・16日（日）長野市「ホテルメトロポリタン長野」において開催され、本会から役員他会員21名が参加した。

なお、学術大会における会員発表には、本会を代表して長澤弘樹会員が「外傷性肩関節脱臼（烏口下脱臼）の整復法についての一考案」について論文発表、大橋 保会員が「半月板ロッキングに対する整復法～靱帯損傷による動揺性を伴う症例～」について実技発表を行った。

(4) 新潟柔整専門学校との協調を図る。

新潟柔整専門学校への業界説明会は実施されなかったが、4月1日（月）新潟ユニゾンプラザで開催された同校入学式及び3月18日（火）新潟県民会館で開催された同校卒業式に金子会長が出席し祝辞を述べ、優等卒業生に対し表彰状を授与し、学校との連携協調を図った。

3 柔道整復師並びに柔道整復術の普及、啓発に関する事業

(1) 一般県民及び柔道整復師を対象とした公開講座を開催する。

○上越ブロック夏季研修会「公開講座」を行った。

7月7日（日）に「上越市教育プラザ」において、上越消防署救急隊より「普通救命Ⅰ」の講習会と上越地域医療センター病院整形外科部長の小坂泰啓先生を講師に招き「スポーツ現場での救護について」と題して、公開講座を開催した。参加者は会員、一般を合わせて21名であった。

○下越ブロック佐渡地区「市民公開講座」を行った。

9月28日（土）に佐渡市「佐渡島開発総合センター」において、医療法人愛仁会 亀田第一病院新潟脊椎外科センター顧問の本間隆夫先生を講師に招き、「あなたの腰痛が治らない訳」と題して、下越ブロック佐渡地区主催で市民公開講座（佐渡市後援）を開催した。参加者は会員、一般を合わせて93名であった。

○新潟県民医療推進協議会の会員として県民に対し健康意識の向上を図るための健康

寿命延伸フォーラムの事業に協力した。

(2) 会員研修会を開催する。

○「匠の技 伝承」プロジェクト事業を次のとおり実施した。

・指導者候補者4名：小林英樹会員、早川雅成会員、和田浩一会員、金谷隆史会員

・受講方法：4月は、日整会館にて和田浩一会員・金谷隆史会員が参加。

その他は、本会館にてオンラインによる画面を視聴する形で実施。

・受講日及び内容

4月14日（日） 「鎖骨骨折・肋骨骨折・肘関節後方脱臼」実技実習

11月10日（日） 「橈骨遠位端骨折」整復固定施術技術実習及び超音波化観察装置取扱技術実習

2月9日（日） 「肩甲上腕関節脱臼」整復固定施術技術実習及び超音波観察装置取扱技術実習

○日整「匠の技」第1回技術講習会の開催

柔道整復師の資質向上と施術の技術の平準化を確保するため「匠の技伝承プロジェクト」を推進し、柔道整復伝統の技術である「無血徒手整復技術」の向上に献身し国民の健康と安全に貢献することを目指し、10月6日（日）本会館にて実施した。参加者は44名であった。

○日本赤十字社救急法基礎講習会の開催

9月8日（日）本会館にて、日本蘇生協議会から発表された「JRC 蘇生ガイドライン2020」に対応した「手当の基本」と「一次救命処置（BLS）」について座学・実技指導及び試験（文章及び実技試験）が行われた。参加者は会員他20名であった。

○長岡地区相談会の開催

11月2日（土）長岡市社会福祉センタートモシアにおいて、マイナ保険証読み取り、コピー、操作関係をはじめ領収明細書、施術内容等について大橋理事と鹿島長岡地区長2名で相談会を開催した。相談者は3名であった。

(3) 機関誌「新整広報」第54号を発行する。

年1回の発行であるが、会員から投稿を募集するなど内容を充実させ、2月1日発行し会員及び関係団体等に向けて郵送した。

(4) 情報公開を推進するとともに、ホームページの積極的な利用を促進する。

本会ホームページの一般用、会員用とも内容を充実させるとともに、タイムリーな内容を掲載するよう努めた。

「新整広報」や重要な通知等も保存可能となり情報検索が容易となった。

(5) （公社）日本柔道整復師会諸事業に積極的に参加し協力する。

代議員として参加協力した。

(6) 北信越ブロック会諸事業に積極的に参加し協力する。

各県会長会が7回、理事会が2回開催され、金子会長、丸山副会長、市川副会長、加藤理事が出席した。

(7) 会員の加入促進を図る。

新潟柔整専門学校の入学式及び卒業式において、会長挨拶の中で本会の説明を行い加入促進・勧奨を図った。

4 県民の健康、保健、介護及び福祉増進に関する事業

(1) 県内市町村の健康増進事業に積極的に参加するとともに、その運営に協力する。

上越ブロックでは、関係各課との情報交換懇談会を開催した。

○10月5日（土）妙高市関係各課との研修懇談会 参加者:会員6名

○10月26日（土）柏崎市関係各課との研修懇談会 参加者:会員11名

○11月9日（土）上越市健康福祉部関係各課との研修懇談会 参加者:会員24名

(2) 医師会及び関係団体との連携を強化する。

○9月29日（日）新潟県在宅医療推進フォーラム「在宅ケアを考える集い in 越後」の開催にあたり後援した。

○10月5日（土）ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催された「令和6年度新潟県医師会設立記念大会」に理事1名が出席した。

○2月20日（木）ANAクラウンプラザホテル新潟にて医師会との懇談会を開催し医療をめぐる諸問題について情報交換を行った。

○3月14日（金）ANAクラウンプラザホテル新潟にて、協会けんぽ新潟支部、健保連新潟連合会及び本会との三者連絡懇談会を開催し情報交換を行った。

(3) 介護保険制度への積極的な参画及び推進を図る。

新潟市他6地域での介護認定審査委員、妙高市他1市の地域包括センター運営協議会委員等として、地域の介護保険制度の推進に積極的に参画した。

また、妙高市の介護予防事業「リハビリ健康講座」の機能訓練指導員として会員5名が委嘱されている中、10回の講座が開催され、延べ110人の参加があった。

(4) 各地域で健康教室の開催など、地域住民の健康の保持増進を目的とした事業を推進する。

○6月23日（日）柏崎市元気館にて「歯の健康展・身体健康づくり体験コーナー」が開催され、柏崎市内の会員6名がブース出展に参加した。

来場者63名にテーピング体験・ストレッチング指導・介護予防運動などを行った。

○9月14日（土）・15日（日）アオーレ長岡にて「すこやか・ともしびまつり2024」が開催され、中越ブロック長岡地区会員10名が参加した。

来場者96名に「ストレッチングボード測定とテーピング体験」をしていただき、29名の健康相談を受け、市民に対して接骨院・整骨院の役割や健康づくりのアド

バイスをした。

○新潟市内の2体育施設において、新潟市開発公社主催で通年開催されている健康教室に外部講師として依頼を受け、2名の会員が参加し指導を行った。

延べ指導回数9回、延べ参加市民は179名であった。

5 教育、スポーツ等を通じて県民の心身の健全な育成並びにスポーツ競技者、障がい者の支援に関する事業

(1) 各種スポーツ大会に協力する。

県内外各所で開催されたマラソン大会をはじめ柔道、空手、バレーボール等の大会に多くの会員が救護ボランティアとして協力した。

(2) 第35回新潟県柔道整復師会県下少年柔道大会・第13回形競技大会を開催する。

7月28日(日)上越市「謙信公武道館」において、参加者の安全面を第一に考慮して大会を開催した。

参加選手は、柔道大会25団体98名、形競技会5チーム10名であった。

(3) 第33回日整全国少年柔道大会、第14回日整全国少年柔道大会形競技大会、第5回全国柔道整復師高段者大会に参加し開催に協力する。

11月17日(日)東京都「講道館」において大会が開催され、当県からは、少年柔道大会で監督：牛木幹人会員、コーチ：加藤智範理事、選手：大将に桃井 駆君、副将に大武隼人君、中堅に山田健志朗君、次鋒に若槻匠吾君、先鋒に馬場にい菜さんが出場した。成績は「0-5」で1回戦敗退となった。形競技では監督：長澤美希氏、取：池上寛大君、受：池上こころさんが出場した。成績は予選Cブロックで3位の結果で惜しくも決勝進出は果たせなかった。また、高段者大会では六段の部に桑名和行会員が参加し、優秀選手賞を受賞した。

6 公衆衛生、災害、治安の維持に関する事業

(1) 新潟県総合防災訓練及び各市町村の防災訓練に参加し協力する。

新潟県・南魚沼市総合防災訓練が10月20日(日)に行われ、日本赤十字社とともに医療支援訓練に参加した。

また、五泉市総合訓練が9月29日(日)に行われ、日本赤十字社と連携をとりながら野外医療救護所で骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷等の応急医療活動訓練に参加した。

(2) 新潟県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団として、災害救護活動に取り組むとともに、日本赤十字社新潟県支部の救護活動に協力する。

日赤救護活動方針に基づき、県内外各所で開催された各種スポーツ大会に救護ボランティアとして救護活動に協力するとともに、日本赤十字社新潟県支部に「日赤救護活動」に対して金一封贈呈した。

・救護活動：58回 ・救護者：1, 115名

- (3) 「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」の活動に参加するとともに地域社会と一体となって、犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力する。

推進協議会の構成団体として犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力した。

- (4) 「こども・女性・おとしより・かけこみ110番」の設置運用を推進する。

新入会員にステッカーを配付し施術所に設置している。

- (5) 災害時における救護活動を円滑に行うため、組織体制の確立を図るとともに人材育成に取り組む。

柔道整復師こそが災害現場で活躍できることを社会に向けて発信し、救助現場から復興までどのように活躍できるかの体制づくりを進めていくため、本会の災害担当者に丸山総務部長と加藤事業部長を日整に登録した。

7 会員の福祉増進及び相互扶助に関する事業

- (1) 共済部事業を推進する。

規約に基づき、結婚祝金1件、傷病見舞金8件、香典10件の給付金支給及び祝電、弔電並びに生花を贈呈した。

- (2) 全国国民年金基金に協力する。

会務報告にリーフレットを同封する等、会として事業に協力した。

- (3) 新潟県柔道整復師協同組合の活動に協力する。

本会ホームページの新潟県柔道整復師協同組合のページに、お得な商品のチラシ等を紹介した。

また、会務報告にチラシを同封するなど会員の物資販売事業に協力した。

- (4) 会員に有益な情報を提供する。

日整及び関係機関等からの会員にとって有益な各種情報を会務報告や会員ホームページに随時掲載し情報の提供に努めた。

- (5) 第38回新整ゴルフ大会を開催する。

7月7日(日)新潟市秋葉区の新津カントリークラブにて会員及び関係業者12名が参加し開催された。

優勝:金子益美 会長、準優勝:高橋國廣 会員、第三位:中井裕介 会員

8 その他本会の目的達成のために必要な事業

- (1) 新潟県柔道整復師会館の有効利用を図る。

日本赤十字社救急法基礎講習会、日整「匠の技」技術講習会、新入会員保険請求事務講習会、広報委員会、柔道スポーツ委員会、保険委員会等の開催に利用した。